

先駆けを！

夢の実現におけて！

学校報 望 洋

東海大学附属市原望洋高等学校
編集：メディアセンター

2020年12月18日 第141号

総括 2020年度 2学期

建学祭を開催

10月24日(土)・25日(日)の両日にわたって2020年度の建学祭を実施しました。今年度はCOVID-19の影響で、保護者の方々を含めて公開をせず、校内だけの開催となりました。内容も例年行っていた教室での展示・娯楽、ステージ発表、模擬店などをすべて中止し、クラスや部活動で作成した動画を教室の電子黒板で視聴する形式に変更しました。各クラス・部活動ともに趣向を凝らし、歌やダンス、ばかっこいい動画、ドラマなどを作成しました。また、モザイクアートや校内のバス停制作、教室をいっぱいに使ったドミノ倒しや2教室つなげたピタゴラスイッチなども制作過程とともに動画として作成しました。生徒たちは食い入るように画面を見つめ、感心したり笑ったりと2日間の建学祭を大いに楽しみました。



「クラスの仲が深まった建学祭」

3年1組 建学祭実行委員長 御領園結花

今年の建学祭はコロナウイルスの影響により、動画鑑賞という形で行われました。動画の制作を通してクラスの仲が深まったのではないのでしょうか。どのクラスも個性が出ていてとても楽しい建学祭になりました。コロナウイルスの影響で、普段できていたことが限られている今こそ、できることを全力で楽しむことが明るい未来への一歩だと思います。この年最初の行事が建学祭で、良いスタートが切れたと思います。

「初めての建学祭」

1年2組 野中美咲

クラスで1つの行事をやることは初めての体験でした。苦勞することは沢山ありましたが、クラス全員が協力してくれたおかげで2組らしい動画をつくるのが出来ました。クラス一人ひとりが様々な場面で活躍してくれたので、建学祭当日はもちろんのこと、準備期間もより充実したものとなり、絆を深めることができたと思います。体育祭などクラスで協力する場面はこれからもたくさんあるので、一致団結して頑張っていきたいです。

「協力の大切さを知った建学祭」

2年4組 近藤幹大

私は建学祭を終えて、2つのことを感じました。まず1つ目は、協力の大切さです。準備期間では、実行委員会を中心にクラスが1つのものを作っていく中で、問題もありましたが、みな協力し乗り越えることができました。2つ目は行動力の重要さです。行動力があり、前々から練習していたクラスは、それなりの完成度になっていきました。誰かがやるのを待つのではなく、自分から動く行動力が必要だと思いました。今年も建学祭ができてよかったです。

「クラスで団結した建学祭」

3年3組 渡部伸也

10月24・25日に建学祭が行われました。今年は例年と違い、各クラスで動画を撮影し放映するという形式でした。私はクラスの皆に選ばれて建学祭実行委員になったため、責任を感じていました。しかし、クラスの皆が協力してくれて、みんなで団結して動画を作ることができました。とても良い思い出になりました。建学祭を通じて、クラスメイトの大切さを改めて感じるすることができました。行事は残り少ないですが、楽しみたいです。

「建学祭を終えて」

3年8組 生徒会長 大谷陵朔

例年と大きく異なる形で開催することになった今年の建学祭は、今までに経験したことのないことがたくさんありました。全団体が動画を制作し、それを放送する形は、コロナ対策が目的でした。この状況では、新しいことを私たちが考えて実行することは、例年よりも大きな学びを得ることができました。また、動画という一生残すことができるものをつくることができたことも、私たちにとってかけがえのない思い出になったと思います。

性教育講話を実施

7月31日(金)、1年生を対象に性教育講話を実施しました。毎年、夏休みの直前に「性についての正しい知識・認識を持てるようにする」と「自分や他人を大切にすることを育む」ことを目的に行っています。今年度は、COVID-19の影響で、例年のような講堂での集会スタイルではなく、各教室の電子黒板を使用し、online講話を行いました。開業助産師であり「助産院ねむねむ」の院長でもある根岸雄子先生を講師にお迎えし、「エイズ・性感染症の予防等について」と題しての講話を行っていただきました。生徒たちは、新しい生命の誕生や性感染症の予防などについて興味を持って聞き、事後のアンケートにも真剣に回答しました。



「性教育講話を聞いて」

1年8組 濱村咲希

私は今回の講話をとおして、性感染症の恐ろしさを学びました。私は今まで、性感染症について何も知らなかったし、軽い認識で、ごく一部の人しか知らないものだと思っていました。しかし、来て下さった先生の話聞いて、誰でも起こる可能性を持っているということを知りました。病気にかかったら、体調が悪くなったり、他の人にうつしてしまったりするし、治療を続けていかないといけなくて大変なんだということも知りました。今では、治療できるようになっているそうですが、やはり、病気にならないことが一番だと思います。そのためには、相手と自分自身を大切にすることが必要だと思います。これからも、相手を思いやり自分を大切にしていこうと思いました。

生徒会役員選挙を実施

11月16日(月)、2020年度の生徒会役員選挙 立会演説会・投票・開票作業が行われました。今年度の立会演説会は、COVID-19の影響で、集会形式ではなく事前に収録した映像を各教室の電子黒板で視聴する形式で行いました。生徒たちは生徒会の運営を託す立候補者の話を真剣に聞いて投票しました。放課後の選挙管理委員会による開票・確認の結果、以下のように新生徒会役員が決定しました。これからの1年間、新役員の活躍に期待します。

会長：丸島 桃香 副会長：佐藤 未梨 伊藤 菜々子
書記：福島 美星 白谷 海
会計：小松原 千響 小野塚 大輝 南雲 海翔
会計監査：始関 泰誠 保坂 優太



第35回体育祭を開催

11月12日(木)、2020年度の体育祭を実施しました。今年はCOVID-19の影響で開催自体が危ぶまれましたが、規模の縮小、開催時間の短縮、競技前後の手洗いと手指の消毒の徹底などの対策をとることで実施にこぎつけました。時間の短縮のため、初の試みとして学年混合のクラス対抗の形式で実施しました。1～3年の同じ数字のクラスの生徒が同じ種目に参加したため、学年を越えて盛んに応援が行われました。午前中で終了しましたが、生徒達が大いに楽しんだ体育祭となりました。

優勝：6組 準優勝：1組 3位：5組



「学年の壁を超えた体育祭」

3年5組 体育祭実行委員長 那須勇門

今年度の体育祭は、新型コロナウイルスの影響により多くの制限の中で開催されました。その中でも、色別対抗での実施は学年の壁を越えて絆を深め、とてもいい雰囲気で行うことができました。結果に関わらず、学校全体で行事に一生懸命取り組めたことは、とてもいい経験になりました。残りの行事はクラス単位で行う形になりますが、変わらず全力で楽しみ、いい思い出を作っていきたいと思います。

「体育祭を終えて (優勝)」

3年6組 中野梨香

今回コロナウイルス感染の影響で、例年とは異なった体育祭になりましたが、私たちが安全に楽しく行えるように考慮してくれた先生方、本当にありがとうございました。クラス対抗ではなく色別対抗となり、正直どうなるか不安でしたが、高校生活最後の体育祭で優勝できたのは、協力してくれた1、2年生を含む6組のみんなのおかげです。これからの限られた時間も、仲間と思いっきり楽しんでいきたいです。

知的財産講話を実施

2020年10月3日(土)、2年生を対象に、“文具王”こと高畑正幸先生を講師にお迎えし、知的財産講演を行いました。さまざまなアイデア・発明によって多くの商品が開発されていることや、読書の大切さ、突き詰めて物を調べ考えることの大切さなどを話していただきました。生徒たちは、自らの将来に関わる内容もあり、真剣に話を聞きました。



「知的財産講話を聞いて」

2年3組 尼子貴大

今回、高畑正幸先生の講演を聞いて、現在、将来の事に不安を抱えた私たちにとっては、高畑先生の仕事でもある文具の開発は、選択肢の1つとなって大変良かったと思います。将来の仕事としては、楽しんで1つの事を突き詰めて考えられるのが理想だと考えています。そこから多くの発想や想像をして、日常のものを今まで以上に使いやすいものにしようとする努力を重ねる話には感動しました。また、今回の講話を聞いて、私たちに足りないものは高畑先生のような向上心と努力だとも感じました。この知的財産について学ぶことで、将来のことを考えるのと同時に、向上心を身に付けて、これからの学校生活を充実したものにしていきたいです。

芸術鑑賞会を実施（2年生・3年生）

11月10日(火)に2年生が日生劇場で、13日(金)に3年生が帝国劇場で芸術鑑賞会を実施しました。2年生はニッセイ名作シリーズのオペラ「ルチア あるいはある花嫁の悲劇」を、3年生はミュージカル「Beautifulビューティフル」を鑑賞しました。2・3年生ともに、ほとんどの生徒が初めての鑑賞でしたが、歌唱・演奏・舞台装置などに圧倒されました。「歌声がすごかった」「初めて見たけどすごい迫力だった」などの感想が聞かれました。



「歌声に感動したミュージカル」

3年4組 毛利彩音

3年生最後の芸術鑑賞会は、帝国劇場にてミュージカル『ビューティフル』を観に行きました。ユーモア溢れる作品で、キャストの方々の歌唱・ダンス・演技に迫力があり、終始鳥肌が止まりませんでした。特に、主演平原綾香さんの歌声に圧倒され感動しました。今年の3年生は多くの学校行事が制限されてきましたが、今回は無事に行くことができ良かったです。卒業の日が刻々と近づいているので、残りの日々を大切に過ごしていきたいです。

「初めてのオペラ」

2年5組 清水桜子

私は今回の芸術鑑賞会で初めてオペラを観ました。前日の紹介動画で、オペラのことを知ってから行ったので、よりオーケストラや演出に注目して観ることができたと思います。私が特に印象に残っているのは、最後のシーンです。中盤も歌でたくさんの感情を表していましたが、最後のシーンは、特に悲しみや嬉しさから離れているとは思えない程大きな声で、豊かに表現されていて圧倒されました。芸術鑑賞会を通してとても充実した体験ができました。

校長面接を実施

毎年10月～11月にかけて、2年生全員が校長先生と1対1で面接を行います。この面接は、高校生活の折り返し点を過ぎた2学年の後半時点で、高校卒業後の進路やこれからの学校生活について改めて考えることを目的に行っています。面接を終えた生徒たちからは、「緊張したけれどいろいろと話せてよかった」「校長先生にいろいろなことを話してもらった」「自分の将来を具体的に考えるきっかけとなった」などの感想が聞かれました。



「校長面接を終えて」

2年8組 藍 浅加

初めての校長面接は、とても緊張しましたが、私のイメージしていた面接よりも安心できるような雰囲気の中で行うことができ、有意義なものとなりました。面接をしている間、校長先生は親しみを持って接してくださり、ポジティブな言葉を掛けてくださったので、自分の将来の目標を再確認することができました。したがって、私はその目標達成に向けて、今後の学校生活でも1つ1つのことを真剣にかつ全力で努めていきたいと思っています。

教育実習を実施

11月2日から3週間、本校卒業生4人が、教育実習に臨みました。実習教科は英語科が1人、公民科1人、保健体育科が2人で、クラス指導・部活動指導も行いました。母校で教壇に立ち、教育者としての使命感と誇りを自覚しながら、主体的・実践的に取り組む姿が見られました。この経験をもとにして、将来、生徒に信頼される教員になることを期待したいと思います。



「教育実習を終えて」

教育実習生 高橋奈央

3週間ありがとうございました。到らぬ所も多くありましたが、先生方からのアドバイスと生徒の優しさに支えられて無事に実習を終えることができました。1週目から授業をさせて頂き、慣れない教壇に緊張しましたが、2週目からは落ち着いて授業をすることができるようになりました。また、体育祭などの行事にも参加させて頂き、生徒との距離が近くなったと感じました。それ以降、生徒との会話も多くなり、段々と実習の楽しさを感じるようになりました。この実習を通して、教員とはどのような仕事なのかを学び、改めて教員になりたいと実感することができました。